

ダイワファンドラップ インデックスプラス・シリーズ

ダイワファンドラップ 外国株式最小分散ファンド (為替ヘッジあり)
ダイワファンドラップ 外国株式最小分散ファンド (為替ヘッジなし)
ダイワファンドラップ 外国投資適格社債ファンド (為替ヘッジあり)
ダイワファンドラップ 外国投資適格社債ファンド (為替ヘッジなし)
ダイワファンドラップ コモディティ・プラス・ファンド

運用報告書(全体版)

第4期

(決算日 2020年6月15日)

(作成対象期間 2019年6月18日～2020年6月15日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「ダイワファンドラップ インデックスプラス・シリーズ」は、このたび、第4期の決算を行ないました。
ここに、当作成期の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2739>
<2740>
<2741>
<2742>
<2738>

ダイワファンドラップ 外国株式最小分散 ファンド (為替ヘッジあり)

運用報告書(全体版) 第4期

(決算日 2020年6月15日)

(作成対象期間 2019年6月18日~2020年6月15日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	外国株式最小分散マザーファンドの受益証券
	外国株式最小分散マザーファンド	世界(日本を含みます。)の金融商品取引所上場のETF ※このファンドにおいてETFとは上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外の株式を対象としたETFに投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCIコクサイ指数 (円ヘッジベース)		投資信託 受益証券 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額			
	(分配落)	税 分	込 配 金	期 騰 落	中 率				(参考指数)	期 騰 落	中 率
1 期末 (2017年 6 月15日)	円 10,690		円 0		% 6.9	11,071	% 10.7	% 69.6	% 25.2	百万円 166	
2 期末 (2018年 6 月15日)	11,123		0		4.1	12,054	8.9	67.4	27.0	355	
3 期末 (2019年 6 月17日)	12,120		0		9.0	12,074	0.2	68.1	27.3	466	
4 期末 (2020年 6 月15日)	11,370		0	△	6.2	12,067	△	0.1	66.8	27.6	783

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) MSCIコクサイ指数 (円ヘッジベース) は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIコクサイ指数 (円ヘッジベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIコクサイ指数 (円ヘッジベース) は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

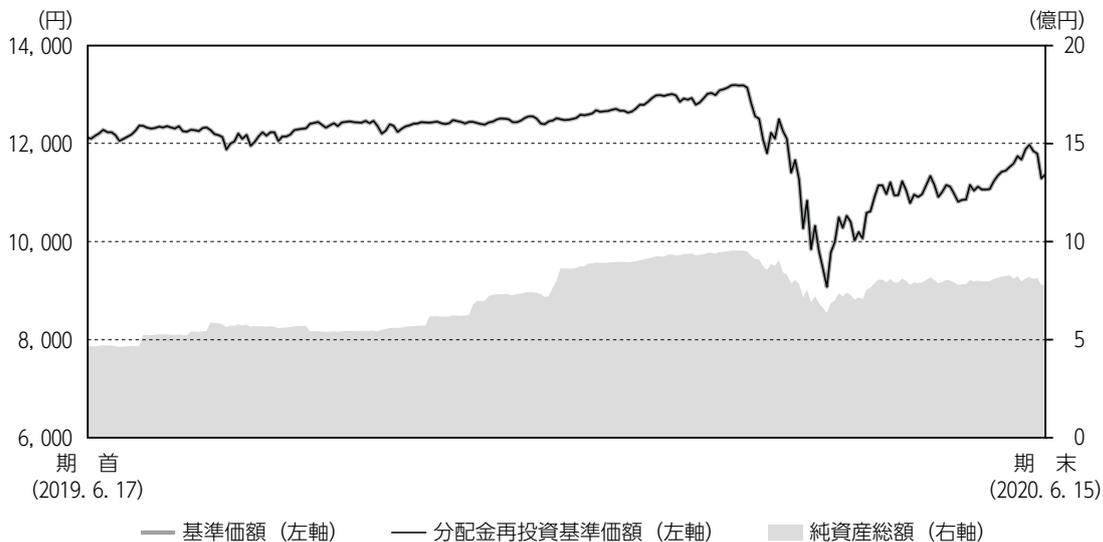
(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注 5) 投資信託受益証券および投資信託証券の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：12,120円

期末：11,370円（分配金0円）

騰落率：△6.2%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

外国株式最小分散マザーファンドを通じて、海外の株式を対象としたETF（※）に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、基準価額は下落しました。主に、保有するETF価格の下落（現地通貨ベース）がマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※当ファンドにおいてETFとは、上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。

年 月 日	基 準 価 額		MSCIコクサイ指数 (円ヘッジベース)		投資信託 受益証券 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2019年6月17日	円 12,120	% —	12,074	% —	% 68.1	% 27.3
6月末	12,097	△ 0.2	12,217	1.2	67.1	27.6
7月末	12,272	1.3	12,498	3.5	64.0	25.8
8月末	12,277	1.3	12,105	0.3	69.0	27.5
9月末	12,417	2.5	12,299	1.9	68.6	27.9
10月末	12,481	3.0	12,562	4.0	68.1	27.9
11月末	12,555	3.6	12,947	7.2	68.0	27.3
12月末	12,708	4.9	13,223	9.5	67.2	27.7
2020年1月末	12,932	6.7	13,306	10.2	67.4	26.1
2月末	12,082	△ 0.3	12,203	1.1	67.2	27.9
3月末	10,525	△ 13.2	10,483	△ 13.2	66.8	27.5
4月末	11,337	△ 6.5	11,664	△ 3.4	67.4	26.7
5月末	11,426	△ 5.7	12,028	△ 0.4	68.3	27.1
(期末) 2020年6月15日	11,370	△ 6.2	12,067	△ 0.1	66.8	27.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 6. 18 ~ 2020. 6. 15)

外国株式市況

外国株式市況はまちまちの展開となりました。

米国株式は、2019年は米中通商交渉の第1段階合意による米国の対中追加関税回避などから上昇しました。2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて株価が大きく下落する局面もありましたが、3月中旬以降は持ち直しの動きが継続し、当作成期首比では上昇しました。欧州株式は、おおむね米国株式同様の動きとなりましたが、当作成期首比では下落しました。新興国株式はおおむね横ばいの動きとなりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

外国株式最小分散マザーファンドを通じて、海外の株式を対象としたETFに投資します。

保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、保有外貨および各ETFの取引通貨売り／円買いの為替取引を行います。

外国株式最小分散マザーファンド

主に海外の株式を対象とし、価格変動リスクを抑える運用成果をめざすETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクに注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

ポートフォリオについて

(2019. 6. 18 ~ 2020. 6. 15)

当ファンド

外国株式最小分散マザーファンドの受益証券の組入比率を高位に維持しました。

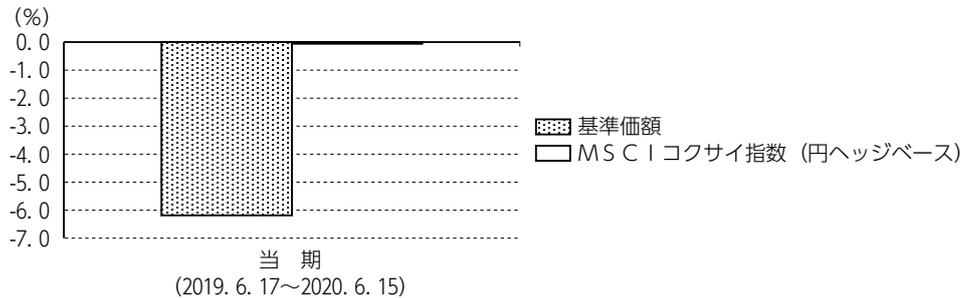
保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、保有外貨および各ETFの取引通貨売り／円買いの為替取引を行いました。

外国株式最小分散マザーファンド

海外の株式を対象としたETFに投資しました。また、投資効率分析などを踏まえて、ETFの配分比率の見直しを行いました。2019年12月に米国株で構成されるINVESCO S & P 500 LOW VOLATILITY ETFの配分比率を引き下げ、カナダ株を組み入れるBMO LOW VOLATILITY CANADIAN EQUITY ETFの配分比率を引き上げました。また、2020年2月にはSPDR SSG A US LARGE CAP LOW VOLATILITY ETFを新たに組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項目	単位	当期
		2019年6月18日 ～2020年6月15日
当期分配金 (税込み)	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,956

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

外国株式最小分散マザーファンドを通じて、海外の株式を対象としたETFに投資します。

保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、保有外貨および各ETFの取引通貨売り／円買いの為替取引を行います。

外国株式最小分散マザーファンド

主に海外の株式を対象とし、価格変動リスクを抑える運用成果をめざすETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 6. 18~2020. 6. 15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	60円	0.500%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,047円です。
（投 信 会 社）	(50)	(0.419)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(7)	(0.054)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(3)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	11	0.093	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(9)	(0.078)	
（投資信託証券）	(2)	(0.015)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託受益証券）	(0)	(0.001)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	8	0.063	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(5)	(0.043)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.015)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	79	0.658	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

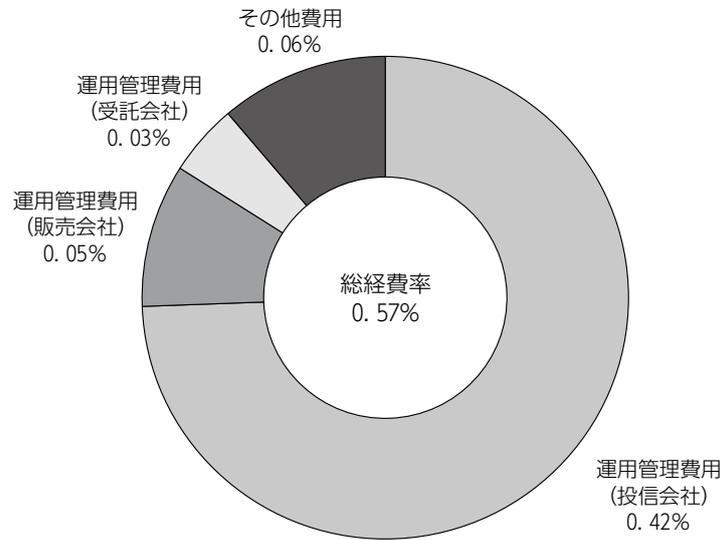
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.57%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国株式最小分散マザーファンド	382,770	545,910	136,204	192,200

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
外国株式最小分散マザーファンド	328,981	575,547	756,615	756,615

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
外国株式最小分散マザーファンド	756,615	95.6
コール・ローン等、その他	35,179	4.4
投資信託財産総額	791,795	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.24円、1カナダ・ドル=78.66円、1ユーロ=120.68円です。

(注3) 外国株式最小分散マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(934,708千円)の投資信託財産総額(955,650千円)に対する比率は、97.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,524,342,261円
コール・ローン等	34,845,468
外国株式最小分散マザーファンド(評価額)	756,615,399
未収入金	732,881,394
(B) 負債	740,457,569
未払金	738,335,848
未払信託報酬	2,098,994
その他未払費用	22,727
(C) 純資産総額(A-B)	783,884,692
元本	689,438,129
次期繰越損益金	94,446,563
(D) 受益権総口数	689,438,129口
1万口当り基準価額(C/D)	11,370円

* 期首における元本額は385,023,755円、当作成期間中における追加設定元本額は470,270,240円、同解約元本額は165,855,866円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,370円です。

■損益の状況

当期 自2019年6月18日 至2020年6月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,144円
受取利息	834
支払利息	△ 6,978
(B) 有価証券売買損益	△ 54,675,721
売利益	48,454,096
売買損	△ 103,129,817
(C) 信託報酬等	△ 3,635,674
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 58,317,539
(E) 前期繰越損益金	37,065,931
(F) 追加信託差損益金	115,698,171
(配当等相当額)	(97,805,187)
(売買損益相当額)	(17,892,984)
(G) 合計(D+E+F)	94,446,563
次期繰越損益金(G)	94,446,563
追加信託差損益金	115,698,171
(配当等相当額)	(97,805,187)
(売買損益相当額)	(17,892,984)
分配準備積立金	37,068,230
繰越損益金	△ 58,319,838

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	97,805,187
(d) 分配準備積立金	37,068,230
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	134,873,417
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	134,873,417
(h) 受益権総口数	689,438,129口

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

外国株式最小分散マザーファンド

運用報告書 第4期 (決算日 2020年6月15日)

(作成対象期間 2019年6月18日~2020年6月15日)

外国株式最小分散マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

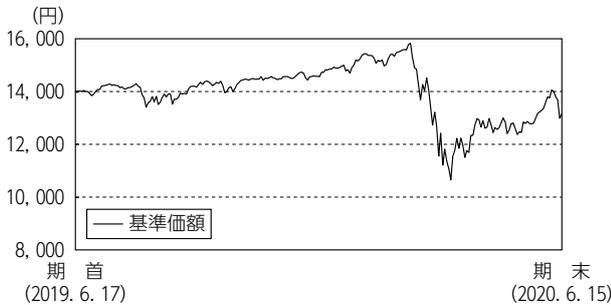
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	世界（日本を含みます。）の金融商品取引所上場のETF ※このファンドにおいてETFとは上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		MSCIコクサイ指数 (円換算)		投資信託受益証券組入比率	
	円	%	(参考指数)	%	%	%
(期首) 2019年6月17日	13,995	—	13,468	—	69.0	27.7
6月末	13,897	△ 0.7	13,587	0.9	68.3	28.0
7月末	14,201	△ 1.5	13,941	3.5	64.7	26.1
8月末	13,939	△ 0.4	13,225	△ 1.8	69.8	27.8
9月末	14,310	△ 2.3	13,628	1.2	69.4	28.2
10月末	14,563	△ 4.1	14,138	5.0	68.7	28.1
11月末	14,734	△ 5.3	14,648	8.8	68.4	27.5
12月末	15,000	△ 7.2	15,070	11.9	67.7	28.0
2020年1月末	15,195	△ 8.6	15,077	12.0	68.6	26.6
2月末	14,227	△ 1.7	13,868	3.0	68.9	28.6
3月末	12,237	△ 12.6	11,772	△ 12.6	68.0	28.0
4月末	12,997	△ 7.1	12,888	△ 4.3	69.4	27.5
5月末	13,224	△ 5.5	13,408	△ 0.4	69.4	27.6
(期末) 2020年6月15日	13,146	△ 6.1	13,478	0.1	69.2	28.6

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) MSCIコクサイ指数 (円換算) は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIコクサイ指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIコクサイ指数 (米ドルベース) は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
 (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,995円 期末：13,146円 騰落率：△6.1%

【基準価額の主な変動要因】

主に海外の株式を対象とし、価格変動リスクを抑える運用成果をめざすETF (※) に投資を行いました。新型コロナウイルス感染拡大を受けた世界的な株価下落を背景に、主に不動産や金融セクターなどが大きく下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※当ファンドにおいてETFとは、上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。

◆投資環境について

○外国株式市況

外国株式市況はまちまちの展開となりました。

米国株式は、2019年は米中通商交渉の第1段階合意による米国の対中追加関税回避などから上昇しました。2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて株価が大きく下落する局面もありましたが、3月中旬以降は持ち直しの動きが継続し、当作成期首比では上昇しました。欧州株式は、おおむね米国株式同様の動きとなりましたが、当作成期首比では下落しました。新興国株式はおおむね横ばいの動きとなりました。

○為替相場

米ドル、ユーロ、カナダ・ドルは対円で下落 (円高) しました。

当作成期首から2019年8月にかけては、米中貿易摩擦の激化などから投資通貨はすべて円高傾向で推移しました。その後は年末にかけて緩やかな上昇 (円安) 傾向で推移しましたが、2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大や原油市場の混乱などをを受けてリスク回避の動きが強まったことから、投資通貨は対円で下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主に海外の株式を対象とし、価格変動リスクを抑える運用成果をめざすETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクに注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

◆ポートフォリオについて

海外の株式を対象としたETFに投資しました。また、投資効率分析などを踏まえて、ETFの配分比率の見直しを行いました。2019年12月に米国株で構成されるINVESCO S & P 500 LOW VOLATILITY ETFの配分比率を引き下げ、カナダ株を組み入れるBMO LOW VOLATILITY CANADIAN EQUITY ETFの配分比率を引き上げました。また、2020年2月にはSPDR SSGA US LARGE CAP LOW VOLATILITY ETFを新たに組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主に海外の株式を対象とし、価格変動リスクを抑える運用成果をめざすETFに投資を行います。
各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。
なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資信託証券)	13円 (11) (2)
有価証券取引税 (投資信託受益証券) (投資信託証券)	0 (0) (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	8 (6) (2)
合計	21

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1)投資信託受益証券

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外	アメリカ	千口 77.8 ()	千アメリカ・ドル 5,112 ()	千口 41.3 ()	千アメリカ・ドル 2,510 ()
	カナダ	千口 17.9 ()	千カナダ・ドル 609 ()	千口 1.6 ()	千カナダ・ドル 54 ()

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注4) 金額の単位未満は切捨て。

(2)投資信託証券

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外	アメリカ	千口 14.8 ()	千アメリカ・ドル 848 ()	千口 3.1 ()	千アメリカ・ドル 169 ()
	ユーロ (アイルランド)	千口 16.85 ()	千ユーロ 761 ()	千口 5.15 ()	千ユーロ 226 ()

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(1)投資信託受益証券

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

銘柄	当期			銘柄	当期		
	買付口数	買付金額	平均単価		売付口数	売付金額	平均単価
ISHARES EDGE MSCI MIN VOL US (アメリカ)	千口 29.2	千円 199,936	円 6,847	INVESCO S&P 500 LOW VOLATILI (アメリカ)	千口 29	千円 188,187	円 6,489
INVESCO S&P 500 LOW VOLATILI (アメリカ)	千口 25.2	千円 153,708	円 6,099	ISHARES EDGE MSCI MIN VOL US (アメリカ)	千口 7.9	千円 54,325	円 6,876
SPDR SSGA US LARGE CAP LOW V (アメリカ)	千口 11.8	千円 149,691	円 12,685	SPDR SSGA US LARGE CAP LOW V (アメリカ)	千口 1.3	千円 15,102	円 11,617
BMO LOW VOLATILITY CANADIAN (カナダ)	千口 17.9	千円 50,383	円 2,814	INVESCO S&P MIDCAP LOW VOLAT (アメリカ)	千口 2.3	千円 12,780	円 5,556
INVESCO S&P 500 HIGH DIVIDEN (アメリカ)	千口 9.1	千円 40,029	円 4,398	BMO LOW VOLATILITY CANADIAN (カナダ)	千口 1.6	千円 4,228	円 2,642
INVESCO S&P MIDCAP LOW VOLAT (アメリカ)	千口 2.5	千円 13,598	円 5,439	INVESCO S&P 500 HIGH DIVIDEN (アメリカ)	千口 0.8	千円 3,077	円 3,846

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2)投資信託証券

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

銘柄	当期			銘柄	当期		
	買付口数	買付金額	平均単価		売付口数	売付金額	平均単価
ISHARES EDGE MSCI MIN VOL EM (アメリカ)	千口 14.8	千円 92,443	円 6,246	ISHARES EDGE MSCI ERP MINVOL (アイルランド)	千口 5.15	千円 26,781	円 5,200
ISHARES EDGE MSCI ERP MINVOL (アイルランド)	千口 16.85	千円 91,682	円 5,441	ISHARES EDGE MSCI MIN VOL EM (アメリカ)	千口 3.1	千円 18,321	円 5,910

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国投資信託受益証券

銘柄	期首		当期末	
	□数	□数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
INVESCO S&P 500 LOW VOLATILI	25.6	21.8	1,062	113,922
INVESCO S&P 500 HIGH DIVIDEN	2.4	10.7	363	38,945
ISHARES EDGE MSCI MIN VOL US	29	50.3	3,031	325,052
INVESCO S&P MIDCAP LOW VOLAT	4	4.2	173	18,619
SPDR SSGA US LARGE CAP LOW V	—	10.5	1,077	115,540
アメリカ・ドル □数、金額	61	97.5	5,707	612,081
通貨計 銘柄数<比率>	4銘柄	5銘柄		<64.0%>
(カナダ)	千口	千口	千カナダ・ドル	千円
BMO LOW VOLATILITY CANADIAN	4.1	20.4	626	49,247
カナダ・ドル □数、金額	4.1	20.4	626	49,247
通貨計 銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄		<5.2%>
合計 □数、金額	65.1	117.9	—	661,328
合計 銘柄数<比率>	5銘柄	6銘柄		<69.2%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		当期末	
	□数	□数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
ISHARES EDGE MSCI MIN VOL EM	12.6	24.3	1,279	137,176
アメリカ・ドル □数、金額	12.6	24.3	1,279	137,176
通貨計 銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄		<14.4%>
(ユーロ(アイルランド))	千口	千口	千ユーロ	千円
ISHARES EDGE MSCI ERP MINVOL	14.364	26.064	1,126	135,920
ユーロ □数、金額	14.364	26.064	1,126	135,920
通貨計 銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄		<14.2%>
合計 □数、金額	26.964	50.364	—	273,097
合計 銘柄数<比率>	2銘柄	2銘柄		<28.6%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	661,328	69.2
投資信託証券	273,097	28.6
コール・ローン等、その他	21,225	2.2
投資信託財産総額	955,650	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.24円、1カナダ・ドル=78.66円、1ユーロ=120.68円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(934,708千円)の投資信託財産総額(955,650千円)に対する比率は、97.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月15日現在

項目	当期末
(A) 資産	955,650,516円
コール・ローン等	21,225,167
投資信託受益証券(評価額)	661,328,339
投資信託証券(評価額)	273,097,010
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A-B)	955,650,516
元本	726,939,042
次期繰越損益金	228,711,474
(D) 受益権総口数	726,939,042口
1万口当り基準価額(C/D)	13,146円

* 期首における元本額は408,091,662円、当作成期間中における追加設定元本額は465,428,061円、同解約元本額は146,580,681円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワファンドラップ 外国株式最小分散ファンド(為替ヘッジあり)575,547,999円、ダイワファンドラップ 外国株式最小分散ファンド(為替ヘッジなし)151,391,043円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,146円です。

■損益の状況

当期 自2019年6月18日 至2020年6月15日

項目	当	期
(A) 配当等収益		14,871,232円
受取配当金		14,874,669
受取利息		15,507
支払利息	△	18,944
(B) 有価証券売買損益	△	85,291,481
売買益		11,791,428
売買損	△	97,082,909
(C) その他費用	△	502,918
(D) 当期損益金(A+B+C)	△	70,923,167
(E) 前期繰越損益金		163,042,021
(F) 解約差損益金	△	60,729,319
(G) 追加信託差損益金		197,321,939
(H) 合計(D+E+F+G)		228,711,474
次期繰越損益金(H)		228,711,474

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダイワファンドラップ 外国株式最小分散 ファンド (為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版) 第4期

(決算日 2020年6月15日)

(作成対象期間 2019年6月18日～2020年6月15日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	外国株式最小分散マザーファンドの受益証券
	外国株式最小分散マザーファンド	世界（日本を含みます。）の金融商品取引所上場のETF ※このファンドにおいてETFとは上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外の株式を対象としたETFに投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCIコクサイ指数 (円換算)		投資信託 受益証券 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額		
	(分配落)	税 分	込 配 金	期 騰 落	中 率				(参考指数)	期 騰 落
1 期末 (2017年 6 月15日)	円 11,671		円 0		% 16.7	12,195	% 21.9	% 70.1	% 25.4	百万円 70
2 期末 (2018年 6 月15日)	12,520		0		7.3	13,660	12.0	67.5	27.0	104
3 期末 (2019年 6 月17日)	13,690		0		9.3	13,468	△ 1.4	68.4	27.4	111
4 期末 (2020年 6 月15日)	12,804		0	△	6.5	13,478	0.1	68.4	28.2	201

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) MSCIコクサイ指数（円換算）は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIコクサイ指数（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIコクサイ指数（米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

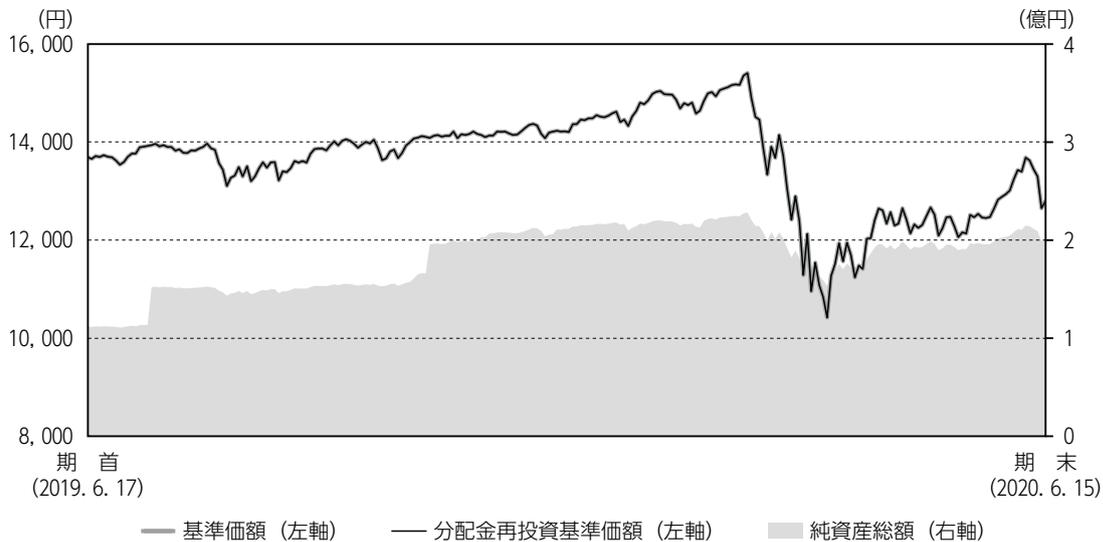
(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注 5) 投資信託受益証券および投資信託証券の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



運用経過

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：13,690円

期末：12,804円（分配金0円）

騰落率：△6.5%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

外国株式最小分散マザーファンドを通じて、海外の株式を対象としたETF（※）に投資した結果、基準価額は下落しました。主に、保有するETF価格の下落（現地通貨ベース）がマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※当ファンドにおいてETFとは、上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。

年 月 日	基 準 価 額		MSCIコクサイ指数 (円換算)		投資信託 受益証券 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2019年6月17日	円 13,690	% —	13,468	% —	% 68.4	% 27.4
6月末	13,593	△ 0.7	13,587	0.9	67.6	27.7
7月末	13,876	1.4	13,941	3.5	64.0	25.8
8月末	13,616	△ 0.5	13,225	△ 1.8	69.1	27.6
9月末	13,969	2.0	13,628	1.2	68.7	27.9
10月末	14,214	3.8	14,138	5.0	68.0	27.8
11月末	14,373	5.0	14,648	8.8	67.7	27.2
12月末	14,623	6.8	15,070	11.9	67.1	27.7
2020年1月末	14,805	8.1	15,077	12.0	67.9	26.4
2月末	13,869	1.3	13,868	3.0	68.2	28.3
3月末	11,946	△ 12.7	11,772	△ 12.6	67.3	27.7
4月末	12,668	△ 7.5	12,888	△ 4.3	68.8	27.3
5月末	12,881	△ 5.9	13,408	△ 0.4	68.6	27.2
(期末) 2020年6月15日	12,804	△ 6.5	13,478	0.1	68.4	28.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 6. 18 ~ 2020. 6. 15)

外国株式市況

外国株式市況はまちまちの展開となりました。

米国株式は、2019年は米中通商交渉の第1段階合意による米国の対中追加関税回避などから上昇しました。2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて株価が大きく下落する局面もありましたが、3月中旬以降は持ち直しの動きが継続し、当作成期首比では上昇しました。欧州株式は、おおむね米国株式同様の動きとなりましたが、当作成期首比では下落しました。新興国株式はおおむね横ばいの動きとなりました。

為替相場

米ドル、ユーロ、カナダ・ドルは対円で下落（円高）しました。

当作成期首から2019年8月にかけては、米中貿易摩擦の激化などから投資通貨はすべて円高傾向で推移しました。その後は年末にかけて緩やかな上昇（円安）傾向で推移しましたが、2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大や原油市場の混乱などを受けてリスク回避の動きが強まったことから、投資通貨は対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

外国株式最小分散マザーファンドを通じて、海外の株式を対象としたE T Fに投資します。

外国株式最小分散マザーファンド

主に海外の株式を対象とし、価格変動リスクを抑える運用成果をめざすE T Fに投資を行います。

各E T Fの投資効率分析などを踏まえ、効率的なE T Fへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクに注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、E T Fへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

ポートフォリオについて

(2019. 6. 18 ~ 2020. 6. 15)

当ファンド

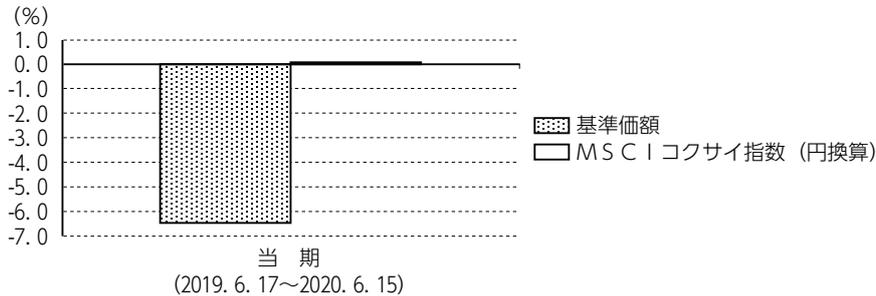
外国株式最小分散マザーファンドの受益証券の組入比率を高位に維持しました。

外国株式最小分散マザーファンド

海外の株式を対象としたE T Fに投資しました。また、投資効率分析などを踏まえて、E T Fの配分比率の見直しを行いました。2019年12月に米国株で構成されるINVESCO S & P 500 LOW VOLATILITY E T Fの配分比率を引き下げ、カナダ株を組み入れるBMO LOW VOLATILITY CANADIAN EQUITY E T Fの配分比率を引き上げました。また、2020年2月にはS P D R S S G A US LARGE CAP LOW VOLATILITY E T Fを新たに組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当期 2019年6月18日 ～2020年6月15日	
	当期分配金（税込み）（円）	—
対基準価額比率（%）	—	
当期の収益（円）	—	
当期の収益以外（円）	—	
翌期繰越分配対象額（円）	2,904	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

外国株式最小分散マザーファンドを通じて、海外の株式を対象としたETFに投資します。

外国株式最小分散マザーファンド

主に海外の株式を対象とし、価格変動リスクを抑える運用成果をめざすETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 6. 18~2020. 6. 15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	68円	0.500%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,625円です。
（投 信 会 社）	(57)	(0.419)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(7)	(0.054)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(4)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	13	0.095	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(11)	(0.079)	
（投資信託証券）	(2)	(0.016)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託受益証券）	(0)	(0.001)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	8	0.062	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(6)	(0.044)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.012)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	90	0.657	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

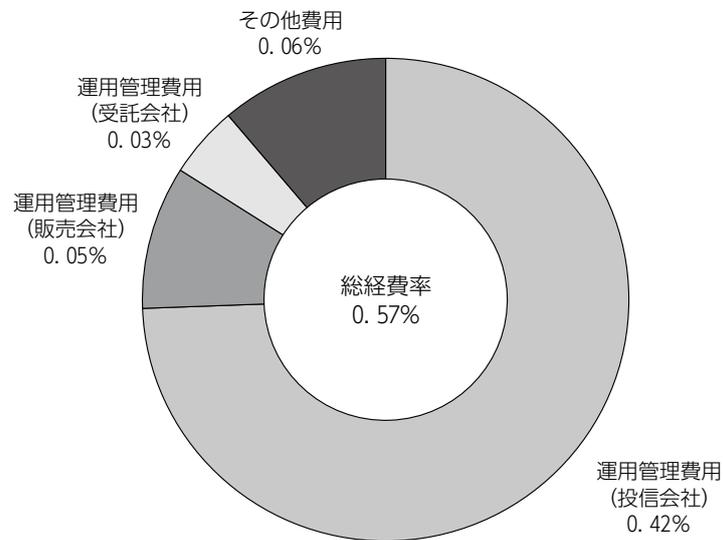
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.57%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国株式最小分散マザーファンド	82,657	116,840	10,376	15,110

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
外国株式最小分散マザーファンド	79,109	151,391		199,018

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
外国株式最小分散マザーファンド	199,018	98.6
コール・ローン等、その他	2,830	1.4
投資信託財産総額	201,848	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.24円、1カナダ・ドル=78.66円、1ユーロ=120.68円です。

(注3) 外国株式最小分散マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(934,708千円)の投資信託財産総額(955,650千円)に対する比率は、97.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	201,848,989円
コール・ローン等	2,830,324
外国株式最小分散マザーファンド(評価額)	199,018,665
(B) 負債	510,760
未払信託報酬	505,360
その他未払費用	5,400
(C) 純資産総額(A-B)	201,338,229
元本	157,252,393
次期繰越損益金	44,085,836
(D) 受益権総口数	157,252,393口
1万口当り基準価額(C/D)	12,804円

* 期首における元本額は81,650,366円、当作成期間中における追加設定元本額は97,057,197円、同解約元本額は21,455,170円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,804円です。

■損益の状況

当期 自2019年6月18日 至2020年6月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 991円
受取利息	70
支払利息	△ 1,061
(B) 有価証券売買損益	△ 14,082,403
売買益	488,162
売買損	△ 14,570,565
(C) 信託報酬等	△ 924,824
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 15,008,218
(E) 前期繰越損益金	11,969,916
(F) 追加信託差損益金	47,124,138
(配当等相当額)	(33,702,704)
(売買損益相当額)	(13,421,434)
(G) 合計(D+E+F)	44,085,836
次期繰越損益金(G)	44,085,836
追加信託差損益金	47,124,138
(配当等相当額)	(33,702,704)
(売買損益相当額)	(13,421,434)
分配準備積立金	11,970,237
繰越損益金	△ 15,008,539

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	33,702,704
(d) 分配準備積立金	11,970,237
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	45,672,941
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	45,672,941
(h) 受益権総口数	157,252,393口

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

■外国株式最小分散マザーファンドの第4期決算については、10~12ページをご参照ください。

ダイワファンドラップ 外国投資適格社債 ファンド (為替ヘッジあり)

運用報告書(全体版) 第4期

(決算日 2020年6月15日)
(作成対象期間 2019年6月18日～2020年6月15日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	外国投資適格社債マザーファンドの受益証券
	外国投資適格社債マザーファンド	世界（日本を含みます。）の金融商品取引所上場のETF ※このファンドにおいてETFとは上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外の投資適格社債を対象としたETFに投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				F T S E世界B I G社債 インデックス (除く円建て、米ドルベース)		投資信託 受益証券 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産額	
	(分配落)	税 分	込 配	み 金	期 騰	中 率				(参考指数)
	円		円		%		%	%	百万円	
1 期末 (2017年 6 月15日)	9,925		0	△	0.8	10,093	0.9	67.8	27.4	574
2 期末 (2018年 6 月15日)	9,614		0	△	3.1	10,108	0.2	67.3	27.0	1,126
3 期末 (2019年 6 月17日)	10,003		0		4.0	10,694	5.8	65.9	29.3	1,434
4 期末 (2020年 6 月15日)	10,508		0		5.0	11,465	7.2	71.5	24.0	2,004

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) F T S E世界B I G社債インデックス（除く円建て、米ドルベース）は、F T S E世界B I G社債インデックス（除く円建て、米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。F T S E世界B I G社債インデックス（除く円建て、米ドルベース）は、F T S E Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はF T S E Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はF T S E Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

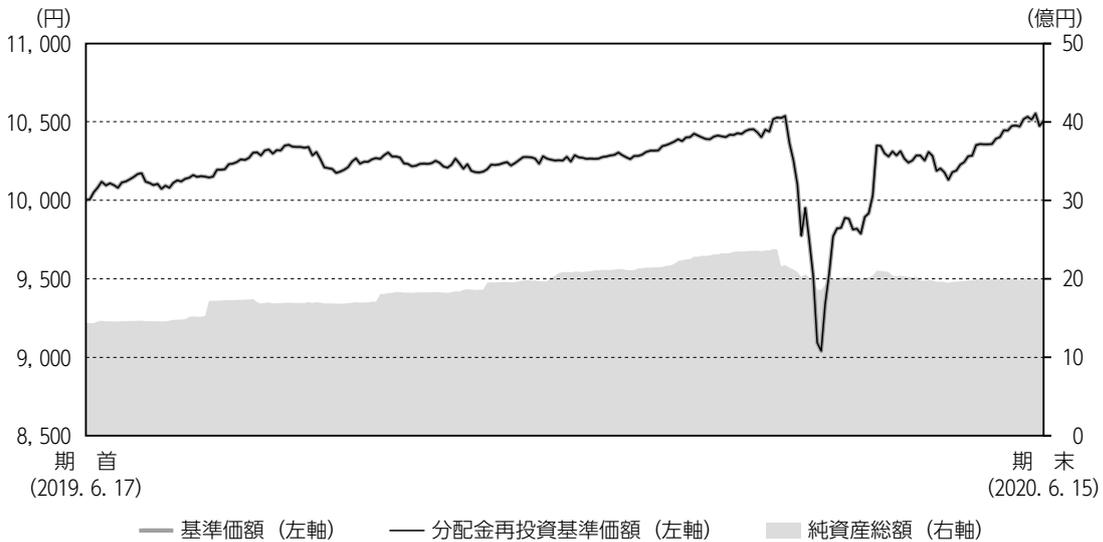
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 投資信託受益証券および投資信託証券の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



運用経過

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,003円

期末：10,508円（分配金0円）

騰落率：5.0%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

外国投資適格社債マザーファンドを通じて、海外の投資適格社債を対象としたETF（※）に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、基準価額は上昇しました。主に、保有するETF価格の上昇（現地通貨ベース）がプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※当ファンドにおいてETFとは、上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。

年 月 日	基 準 価 額		F T S E世界B I G社債インデックス (除く円建て、米ドルベース)		投資信託 受益証券 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
		騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
(期 首) 2019年 6月17日	円 10,003	% —	10,694	% —	% 65.9	% 29.3
6月末	10,114	1.1	10,875	1.7	66.2	29.5
7月末	10,147	1.4	10,882	1.8	59.3	26.5
8月末	10,342	3.4	11,127	4.1	66.9	29.2
9月末	10,246	2.4	11,008	2.9	66.9	29.1
10月末	10,228	2.2	11,087	3.7	66.2	30.1
11月末	10,275	2.7	11,103	3.8	66.2	29.0
12月末	10,290	2.9	11,207	4.8	65.6	29.4
2020年 1月末	10,403	4.0	11,340	6.0	64.5	28.9
2月末	10,403	4.0	11,401	6.6	65.4	29.2
3月末	9,889	△ 1.1	10,588	△ 1.0	67.7	28.8
4月末	10,309	3.1	11,075	3.6	68.9	25.5
5月末	10,404	4.0	11,238	5.1	70.0	26.2
(期 末) 2020年 6月15日	10,508	5.0	11,465	7.2	71.5	24.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 6. 18 ~ 2020. 6. 15)

■外国投資適格社債市況

外国投資適格社債市場は上昇しました。

2019年の外国投資適格社債市場は、低金利環境からより高い利回りを求める投資家の需要が高まったことや、米中通商交渉の第1段階合意による米国の対中追加関税回避などを背景に、年末にかけて上昇しました。2020年に入ってからもしばらくは堅調な推移が続きましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による信用収縮により対国債スプレッド（社債スプレッド）は拡大し、外国投資適格社債市場は3月後半にかけて急落しました。当作成期末にかけては、主要中央銀行による足並みを揃えた金融緩和策の実施などを受けて上昇に転じました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

外国投資適格社債マザーファンドを通じて、海外の投資適格社債を対象としたETFに投資します。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、保有外貨および各ETFの取引通貨売り／円買いの為替取引を行います。

■外国投資適格社債マザーファンド

主に海外の投資適格社債を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクに注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

ポートフォリオについて

(2019. 6. 18 ~ 2020. 6. 15)

■当ファンド

外国投資適格社債マザーファンドの受益証券の組入比率を高位に維持しました。

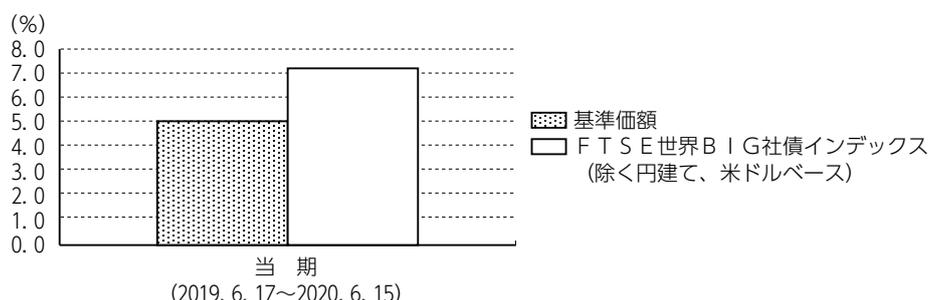
保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、保有外貨および各ETFの取引通貨売り／円買いの為替取引を行いました。

■外国投資適格社債マザーファンド

海外の投資適格社債を対象としたETFに投資し、投資効率分析などを踏まえてETFの配分比率の見直しを行いました。2020年4月および6月に相対的に利回りの高い米ドル建社債の配分比率を引き上げ、ユーロ、英ポンド、カナダ・ドル建社債の配分比率を引き下げました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当期	
	2019年6月18日 ～2020年6月15日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	750

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

外国投資適格社債マザーファンドを通じて、海外の投資適格社債を対象としたETFに投資します。

保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、保有外貨および各ETFの取引通貨売り／円買いの為替取引を行います。

外国投資適格社債マザーファンド

主に海外の投資適格社債を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 6. 18~2020. 6. 15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	51円	0.500%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,232円です。
（投 信 会 社）	(43)	(0.419)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(6)	(0.054)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(3)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	5	0.046	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(4)	(0.036)	
（投資信託証券）	(1)	(0.009)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託受益証券）	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	4	0.043	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(4)	(0.037)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	60	0.590	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

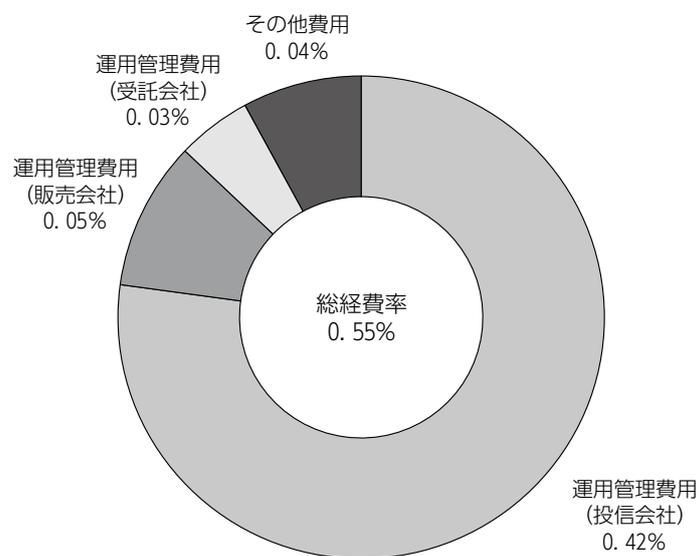
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.55%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国投資適格社債 マザーファンド	894, 103	1, 036, 340	515, 479	602, 730

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
外国投資適格社債 マザーファンド	1, 250, 721	1, 629, 346	1, 938, 107	1, 938, 107

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
外国投資適格社債マザーファンド	1, 938, 107	95. 4
コール・ローン等、その他	93, 202	4. 6
投資信託財産総額	2, 031, 309	100. 0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107. 24円、1カナダ・ドル=78. 66円、1オーストラリア・ドル=73. 06円、1イギリス・ポンド=134. 14円、1ユーロ=120. 68円です。

(注3) 外国投資適格社債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2, 179, 317千円)の投資信託財産総額(2, 201, 934千円)に対する比率は、99. 0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3, 924, 454, 948円
コール・ローン等	91, 900, 450
外国投資適格社債マザーファンド(評価額)	1, 938, 107, 435
未収入金	1, 894, 447, 063
(B) 負債	1, 920, 367, 562
未払金	1, 915, 058, 289
未払信託報酬	5, 252, 269
その他未払費用	57, 004
(C) 純資産総額(A-B)	2, 004, 087, 386
元本	1, 907, 241, 718
次期繰越損益金	96, 845, 668
(D) 受益権総口数	1, 907, 241, 718口
1万口当り基準価額(C/D)	10, 508円

* 期首における元本額は1, 434, 429, 513円、当作成期間中における追加設定元本額は1, 096, 306, 984円、同解約元本額は623, 494, 779円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10, 508円です。

■損益の状況

当期 自2019年6月18日 至2020年6月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 15, 125円
受取利息	2, 701
支払利息	△ 17, 826
(B) 有価証券売買損益	85, 647, 535
売買益	238, 192, 952
売買損	△ 152, 545, 417
(C) 信託報酬等	△ 9, 702, 956
(D) 当期損益金(A+B+C)	75, 929, 454
(E) 前期繰越損益金	24, 521, 434
(F) 追加信託差損益金	△ 3, 605, 220
(配当等相当額)	(42, 628, 252)
(売買損益相当額)	(△ 46, 233, 472)
(G) 合計(D+E+F)	96, 845, 668
次期繰越損益金(G)	96, 845, 668
追加信託差損益金	△ 3, 605, 220
(配当等相当額)	(42, 628, 252)
(売買損益相当額)	(△ 46, 233, 472)
分配準備積立金	100, 466, 013
繰越損益金	△ 15, 125

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	75, 936, 072
(c) 収益調整金	42, 628, 252
(d) 分配準備積立金	24, 529, 941
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	143, 094, 265
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	143, 094, 265
(h) 受益権総口数	1, 907, 241, 718口

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

外国投資適格社債マザーファンド

運用報告書 第4期 (決算日 2020年6月15日)

(作成対象期間 2019年6月18日~2020年6月15日)

外国投資適格社債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

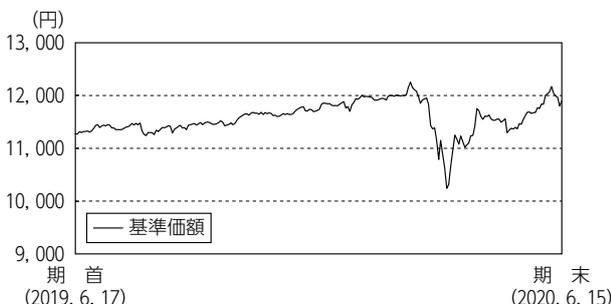
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	世界（日本を含みます。）の金融商品取引所上場のETF ※このファンドにおいてETFとは上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		FTSE世界BIG社債インデックス (除く円建て、円換算)		投資信託 受益証券 組入比率	
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	%	%
(期首) 2019年6月17日	11,276	—	11,533	—	67.0	29.8
6月末	11,372	0.9	11,635	0.9	67.1	29.9
7月末	11,444	1.5	11,734	1.7	60.1	26.8
8月末	11,437	1.4	11,758	1.9	67.7	29.6
9月末	11,488	1.9	11,791	2.2	67.8	29.5
10月末	11,682	3.6	11,982	3.9	66.7	30.3
11月末	11,780	4.5	12,073	4.7	66.5	29.1
12月末	11,887	5.4	12,187	5.7	66.0	29.6
2020年1月末	11,950	6.0	12,275	6.4	65.6	29.4
2月末	11,974	6.2	12,383	7.4	67.0	29.9
3月末	11,233 △	0.4	11,437 △	0.8	68.9	29.3
4月末	11,522	2.2	11,748	1.9	70.8	26.2
5月末	11,754	4.2	11,995	4.0	70.8	26.4
(期末) 2020年6月15日	11,895	5.5	12,203	5.8	74.0	24.8

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) FTSE世界BIG社債インデックス (除く円建て、円換算) は、FTSE世界BIG社債インデックス (除く円建て、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE世界BIG社債インデックス (除く円建て、米ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,276円 期末：11,895円 騰落率：5.5%

【基準価額の主な変動要因】

主に海外の投資適格社債を対象としたETF (※) に投資を行った

結果、基準価額は上昇しました。債券市場で金利が低下 (債券価格は上昇) したことなどがプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※当ファンドにおいてETFとは、上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。

◆投資環境について

○外国投資適格社債市況

外国投資適格社債市場は上昇しました。

2019年の外国投資適格社債市場は、低金利環境からより高い利回りを求める投資家の需要が高まったことや、米中通商交渉の第1段階合意による米国の対中追加関税回避などを背景に、年末にかけて上昇しました。2020年に入ってからもしばらくは堅調な推移が続きましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による信用収縮により対国債スプレッド (社債スプレッド) は拡大し、外国投資適格社債市場は3月後半にかけて急落しました。当作成期末にかけては、主要中央銀行による足並みを揃えた金融緩和策の実施などを受けて上昇に転じました。

○為替相場

米ドル、ユーロ、カナダ・ドル、英ポンドは対円で下落 (円高) しました。

当作成期首から2019年8月にかけては、米中貿易摩擦の激化などから投資通貨はすべて円高傾向で推移しました。その後は年末にかけて緩やかな上昇 (円安) 傾向で推移しましたが、2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大や原油市場の混乱などを受けてリスク回避の動きが強まったことから、投資通貨は対円で下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主に海外の投資適格社債を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクに注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

◆ポートフォリオについて

海外の投資適格社債を対象としたETFに投資し、投資効率分析などを踏まえてETFの配分比率の見直しを行いました。2020年4月および6月に相対的に利回りの高い米ドル建社債の配分比率を引き上げ、ユーロ、英ポンド、カナダ・ドル建社債の配分比率を引き下げました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主に海外の投資適格社債を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクに注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当 期
売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資信託証券)	5円 (4) (1)
有価証券取引税 (投資信託受益証券)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	4 (4) (0)
合 計	10

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	アメリカ	千口 67.8 (-)	千アメリカ・ドル 7,236 (-)	千口 22.8 (-)	千アメリカ・ドル 2,543 (-)
	国	カナダ	千口 34.8 (-)	千カナダ・ドル 641 (-)	千口 59 (-)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	イギリス	千口 3.79 (-)	千イギリス・ポンド 491 (-)	千口 6.5 (-)	千イギリス・ポンド 809 (-)
	国	ユーロ (アイルランド)	千ユーロ 15.79 (-)	千ユーロ 2,010 (-)	千ユーロ 7.8 (-)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

(1) 投資信託受益証券

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

当 期				当 期			
買 付		平均単価		売 付		平均単価	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA (アメリカ)	千口 31.6	千円 432,212	円 13,677	ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA (アメリカ)	千口 12.5	千円 177,668	円 14,213
VANGUARD LONG-TERM CORP BOND (アメリカ)	12.6	134,034	10,637	BMO MID CORPORATE BOND INDEX (カナダ)	41.6	52,404	1,259
VANGUARD S/T CORP BOND ETF (アメリカ)	14.8	130,328	8,806	VANGUARD S/T CORP BOND ETF (アメリカ)	5.8	50,904	8,776
VANGUARD INT-TERM CORPORATE (アメリカ)	8.8	87,007	9,887	VANGUARD INT-TERM CORPORATE (アメリカ)	3.9	39,019	10,005
BMO MID CORPORATE BOND INDEX (カナダ)	22.8	31,091	1,363	ISHARES CANADIAN CORPORATE B (カナダ)	17.4	27,648	1,588
ISHARES CANADIAN CORPORATE B (カナダ)	12	21,161	1,763	VANGUARD LONG-TERM CORP BOND (アメリカ)	0.6	6,605	11,009

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

当 期				当 期			
買 付		平均単価		売 付		平均単価	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
ISHARES CORE EURO CORP BOND (アイルランド)	千口 9.4	千円 152,379	円 16,210	ISHARES CORE EURO CORP BOND (アイルランド)	千口 4.5	千円 69,727	円 15,494
ISHARES CORE GBP CORP (アイルランド)	1.97	40,506	20,561	ISHARES CORE GBP CORP (アイルランド)	3	59,578	19,859
ISHARES EURO CORP EX-FINCL (アイルランド)	2.34	34,368	14,687	ISHARES GBP CORP BOND 0-5YR (アイルランド)	3.5	48,486	13,853
ISHARES GBP CORP BOND 0-5YR (アイルランド)	1.82	26,665	14,651	ISHARES EURO CORP EX-FINCL (アイルランド)	2.5	33,433	13,373
ISHARES EURO CORP 1-5YR (アイルランド)	1.5	20,141	13,427	ISHARES EURO CORP 1-5YR (アイルランド)	0.4	5,234	13,085
ISHARES EURO CORP EX-FINCL (アイルランド)	1.05	15,171	14,449	ISHARES EURO CORP EX-FIN 1-5 (アイルランド)	0.4	5,154	12,887
ISHARES EURO CORP EX-FIN 1-5 (アイルランド)	1	13,509	13,509				
ISHARES EURO CORP EX-FIN 1-5 (アイルランド)	0.5	6,643	13,286				

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国投資信託受益証券

銘柄	期首		当期末	
	□数	□数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
(アメリカ)				
VANGUARD INT-TERM CORPORATE	15	19.9	1,872	200,773
VANGUARD S/T CORP BOND ETF	23.8	32.8	2,691	288,643
VANGUARD LONG-TERM CORP BOND	—	12	1,249	134,002
ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA	48.6	67.7	8,959	960,807
アメリカ・ドル	□数、金額	132.4	14,772	1,584,228
通貨計	銘柄数<比率>	4銘柄		<71.9%>
	千口	千口	千カナダ・ドル	千円
(カナダ)				
BMO MID CORPORATE BOND INDEX	35.4	16.6	283	22,315
ISHARES CANADIAN CORPORATE B	18.1	12.7	281	22,147
カナダ・ドル	□数、金額	29.3	565	44,462
通貨計	銘柄数<比率>	2銘柄		<2.0%>
合計	□数、金額	161.7	—	1,628,691
	銘柄数<比率>	6銘柄		<74.0%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
 (注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		当期末	
	□数	□数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千イギリス・ポンド	千円
(イギリス)				
ISHARES CORE GBP CORP	3.16	2.13	327	43,940
ISHARES GBP CORP BOND 0-5YR	3.3	1.62	171	22,964
イギリス・ポンド	□数、金額	3.75	498	66,905
通貨計	銘柄数<比率>	2銘柄		<3.0%>
	千口	千口	千ユーロ	千円
ユーロ(アイルランド)				
ISHARES CORE EURO CORP BOND	13.76	18.66	2,461	297,001
ISHARES EURO CORP EX-FINCL	5.5	—	—	—
ISHARES EURO CORP 1-5YR	2.35	3.45	379	45,783
ISHARES EURO CORP EX-FIN 1-5	2.35	—	—	—
ISHARES EURO CORP EX-FINCL	—	6.39	758	91,527
ISHARES EURO CORP EX-FIN 1-5	—	3.45	377	45,616
ユーロ	□数、金額	31.95	3,976	479,929
通貨計	銘柄数<比率>	4銘柄		<21.8%>
合計	□数、金額	35.7	—	546,834
	銘柄数<比率>	6銘柄		<24.8%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
 (注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	1,628,691	74.0%
投資信託証券	546,834	24.8%
コール・ローン等、その他	26,408	1.2%
投資信託財産総額	2,201,934	100.0%

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
 (注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.24円、1カナダ・ドル=78.66円、1オーストラリア・ドル=73.06円、1イギリス・ポンド=134.14円、1ユーロ=120.68円です。
 (注3) 当期末における外貨建純資産(2,179,317千円)の投資信託財産総額(2,201,934千円)に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月15日現在

項目	当期末
(A) 資産	2,201,934,155円
コール・ローン等	26,163,668
投資信託受益証券(評価額)	1,628,691,224
投資信託証券(評価額)	546,834,860
未収配当金	244,403
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A-B)	2,201,934,155
元本	1,851,182,474
次期繰越損益金	350,751,681
(D) 受益権総口数	1,851,182,474口
1万口当り基準価額(C/D)	11,895円

* 期首における元本額は1,421,459,851円、当作成期間中における追加設定元本額は1,028,778,450円、同解約元本額は599,055,827円です。
 * 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワファンドラップ 外国投資適格社債ファンド(為替ヘッジあり)1,629,346,310円、ダイワファンドラップ 外国投資適格社債ファンド(為替ヘッジなし)221,836,164円です。
 * 当期末の計算口数当りの純資産額は11,895円です。

■損益の状況

当期 自2019年6月18日 至2020年6月15日

項目	当期
(A) 配当等収益	49,767,757円
受取配当金	49,782,363
受取利息	33,230
支払利息	△ 47,836
(B) 有価証券売買損益	55,506,012
売買益	103,557,760
売買損	△ 48,051,748
(C) その他費用	816,093
△	
(D) 当期損益金(A+B+C)	104,457,676
(E) 前期繰越損益金	181,426,628
(F) 解約差損益金	99,594,173
△	
(G) 追加信託差損益金	164,461,550
(H) 合計(D+E+F+G)	350,751,681
次期繰越損益金(H)	350,751,681

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
 (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダイワファンドラップ 外国投資適格社債 ファンド (為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版) 第4期

(決算日 2020年6月15日)
(作成対象期間 2019年6月18日~2020年6月15日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	外国投資適格社債マザーファンドの受益証券
	外国投資適格社債マザーファンド	世界（日本を含みます。）の金融商品取引所上場のETF ※このファンドにおいてETFとは上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外の投資適格社債を対象としたETFに投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界BIG社債 インデックス (除く円建て、円換算)		投資信託 受益証券 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産額	
	(分配落)	税金 分配	み 騰	期 騰	中 落				(参考指数)
	円	円	円	%		%	%	百万円	
1 期末 (2017年 6 月15日)	10,777	0	0	7.8	10,991	9.9	68.3	27.6	55
2 期末 (2018年 6 月15日)	10,744	0	△	0.3	11,105	1.0	67.8	27.2	120
3 期末 (2019年 6 月17日)	11,081	0	0	3.1	11,533	3.9	66.4	29.5	194
4 期末 (2020年 6 月15日)	11,619	0	0	4.9	12,203	5.8	73.2	24.6	266

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE世界BIG社債インデックス（除く円建て、円換算）は、FTSE世界BIG社債インデックス（除く円建て、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE世界BIG社債インデックス（除く円建て、米ドルベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

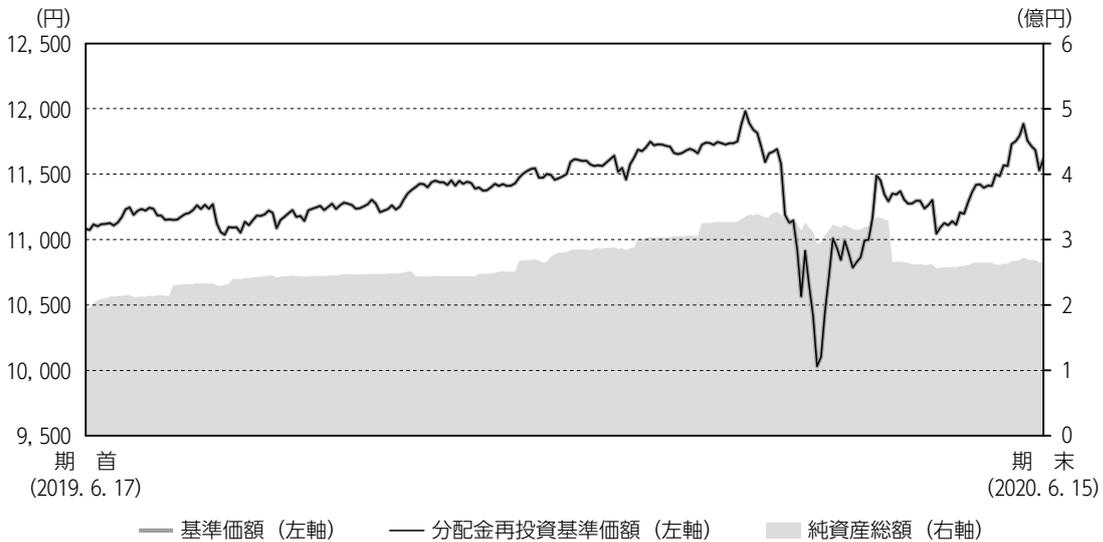
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 投資信託受益証券および投資信託証券の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



運用経過

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：11,081円

期末：11,619円（分配金0円）

騰落率：4.9%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

外国投資適格社債マザーファンドを通じて、海外の投資適格社債を対象としたETF（※）に投資した結果、基準価額は上昇しました。主に、保有するETF価格の上昇（現地通貨ベース）がプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※当ファンドにおいてETFとは、上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。

年 月 日	基 準 価 額		F T S E 世界 B I G 社 債 イ ン デ ッ ク ス (除く円建て、円換算)		投資信託 受益証券 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
		騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
(期 首) 2019年 6月17日	円 11,081	% —	11,533	% —	% 66.4	% 29.5
6 月 末	11,171	0.8	11,635	0.9	66.4	29.6
7 月 末	11,236	1.4	11,734	1.7	59.5	26.5
8 月 末	11,225	1.3	11,758	1.9	67.0	29.3
9 月 末	11,270	1.7	11,791	2.2	67.2	29.2
10 月 末	11,454	3.4	11,982	3.9	66.1	30.0
11 月 末	11,541	4.2	12,073	4.7	65.9	28.8
12 月 末	11,641	5.1	12,187	5.7	65.4	29.3
2020年 1 月 末	11,695	5.5	12,275	6.4	65.0	29.1
2 月 末	11,711	5.7	12,383	7.4	66.3	29.6
3 月 末	10,991	△ 0.8	11,437	△ 0.8	68.3	29.1
4 月 末	11,265	1.7	11,748	1.9	70.2	26.0
5 月 末	11,485	3.6	11,995	4.0	70.1	26.2
(期 末) 2020年 6月15日	11,619	4.9	12,203	5.8	73.2	24.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 6. 18 ~ 2020. 6. 15)

■外国投資適格社債市況

外国投資適格社債市場は上昇しました。

2019年の外国投資適格社債市場は、低金利環境からより高い利回りを求める投資家の需要が高まったことや、米中通商交渉の第1段階合意による米国の対中追加関税回避などを背景に、年末にかけて上昇しました。2020年に入ってからもしばらくは堅調な推移が続きましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による信用収縮により対国債スプレッド（社債スプレッド）は拡大し、外国投資適格社債市場は3月後半にかけて急落しました。当作成期末にかけては、主要中央銀行による足並みを揃えた金融緩和策の実施などを受けて上昇に転じました。

■為替相場

米ドル、ユーロ、カナダ・ドル、英ポンドは対円で下落（円高）しました。

当作成期首から2019年8月にかけては、米中貿易摩擦の激化などから投資通貨はすべて円高傾向で推移しました。その後は年末にかけて緩やかな上昇（円安）傾向で推移しましたが、2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大や原油市場の混乱などを受けてリスク回避の動きが強まったことから、投資通貨は対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

外国投資適格社債マザーファンドを通じて、海外の投資適格社債を対象としたE T Fに投資します。

■外国投資適格社債マザーファンド

主に海外の投資適格社債を対象としたE T Fに投資を行います。

各E T Fの投資効率分析などを踏まえ、効率的なE T Fへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクに注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、E T Fへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

ポートフォリオについて

(2019. 6. 18 ~ 2020. 6. 15)

■当ファンド

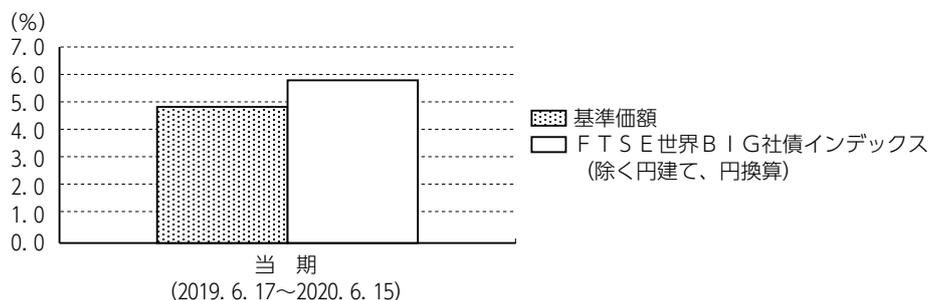
外国投資適格社債マザーファンドの受益証券の組入比率を高位に維持しました。

■外国投資適格社債マザーファンド

海外の投資適格社債を対象としたE T Fに投資し、投資効率分析などを踏まえてE T Fの配分比率の見直しを行いました。2020年4月および6月に相対的に利回りの高い米ドル建社債の配分比率を引き上げ、ユーロ、英ポンド、カナダ・ドル建社債の配分比率を引き下げました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当期	
	2019年6月18日 ～2020年6月15日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,618

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

外国投資適格社債マザーファンドを通じて、海外の投資適格社債を対象としたETFに投資します。

外国投資適格社債マザーファンド

主に海外の投資適格社債を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 6. 18~2020. 6. 15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	57円	0.500%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,345円です。
（投 信 会 社）	(48)	(0.419)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(6)	(0.054)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(3)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	5	0.046	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(4)	(0.037)	
（投資信託証券）	(1)	(0.009)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託受益証券）	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	5	0.043	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(4)	(0.037)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	67	0.590	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

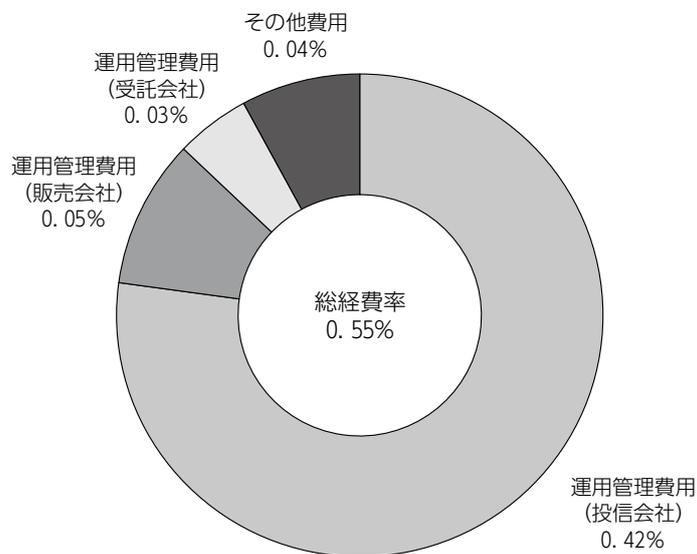
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.55%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国投資適格社債 マザーファンド	134,674	156,900	83,576	95,920

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
外国投資適格社債 マザーファンド	170,738	221,836	221,836	263,874

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
外国投資適格社債マザーファンド	263,874	98.7
コール・ローン等、その他	3,607	1.3
投資信託財産総額	267,481	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.24円、1カナダ・ドル=78.66円、1オーストラリア・ドル=73.06円、1イギリス・ポンド=134.14円、1ユーロ=120.68円です。

(注3) 外国投資適格社債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,179,317千円)の投資信託財産総額(2,201,934千円)に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	267,481,897円
コール・ローン等	3,607,780
外国投資適格社債マザーファンド(評価額)	263,874,117
(B) 負債	748,332
未払信託報酬	740,368
その他未払費用	7,964
(C) 純資産総額(A-B)	266,733,565
元本	229,576,140
次期繰越損益金	37,157,425
(D) 受益権総口数	229,576,140口
1万口当り基準価額(C/D)	11,619円

* 期首における元本額は175,494,073円、当作成期間中における追加設定元本額は144,979,479円、同解約元本額は90,897,412円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,619円です。

■損益の状況

当期 自2019年6月18日 至2020年6月15日

項 目	当 期	
(A) 配当等収益	△	1,277円
受取利息		363
支払利息	△	1,640
(B) 有価証券売買損益		10,101,252
売買益		11,655,128
売買損	△	1,553,876
(C) 信託報酬等	△	1,359,608
(D) 当期損益金(A+B+C)		8,740,367
(E) 前期繰越損益金		1,331,848
(F) 追加信託差損益金		27,085,210
(配当等相当額)	(10,701,817)
(売買損益相当額)	(16,383,393)
(G) 合計(D+E+F)		37,157,425
次期繰越損益金(G)		37,157,425
追加信託差損益金		27,085,210
(配当等相当額)	(10,701,817)
(売買損益相当額)	(16,383,393)
分配準備積立金		10,073,492
繰越損益金	△	1,277

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	8,741,272
(c) 収益調整金	27,085,210
(d) 分配準備積立金	1,332,220
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	37,158,702
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	37,158,702
(h) 受益権総口数	229,576,140口

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

■外国投資適格社債マザーファンドの第4期決算について

では、31～33ページをご参照ください。

ダイワファンドラップ コモディティ・プラス・ ファンド

運用報告書(全体版) 第4期

(決算日 2020年6月15日)

(作成対象期間 2019年6月18日～2020年6月15日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	コモディティ・プラス・マザーファンドの受益証券
	コモディティ・プラス・マザーファンド	世界（日本を含みます。）の金融商品取引所上場のETF ※このファンドにおいてETFとは上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、商品を対象としたETFまたは商品に関連する株式を対象としたETFに投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

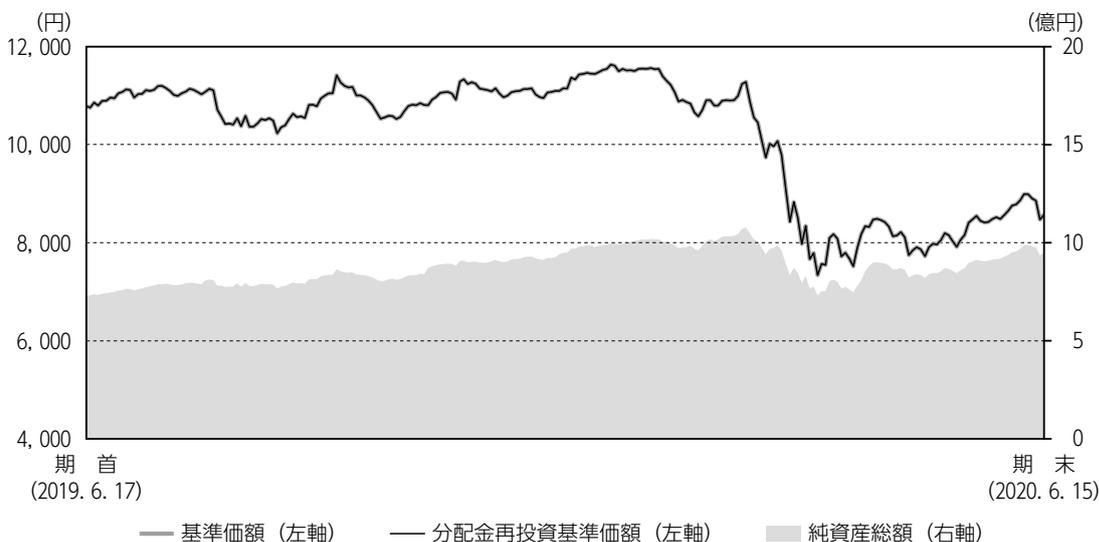
決算期	基準価額			ブルームバーグ商品指数 (円換算)		投資信託 受益証券 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税 分	込 配 金	期 騰 落	中 率			
1 期末 (2017年 6 月15日)	円 10,587	円 0	% 5.9	10,447	% 4.5	% 89.1	% 6.9	百万円 351
2 期末 (2018年 6 月15日)	12,244	0	15.7	11,623	11.3	89.7	7.0	654
3 期末 (2019年 6 月17日)	10,785	0	△ 11.9	9,955	△ 14.4	90.9	6.1	730
4 期末 (2020年 6 月15日)	8,572	0	△ 20.5	8,042	△ 19.2	90.1	4.0	948

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) ブルームバーグ商品指数 (円換算) は、ブルームバーグ商品指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注 5) 投資信託受益証券および投資信託証券の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,785円

期末：8,572円（分配金0円）

騰落率：△20.5%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

コモディティ・プラス・マザーファンドを通じて、商品を対象としたETF（※）または商品に関連する株式を対象としたETFに投資した結果、基準価額は下落しました。主に、保有するETF価格の下落（現地通貨ベース）がマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※当ファンドにおいてETFとは、上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。

年 月 日	基 準 価 額		ブルームバーグ商品指数 (円換算)		投資信託 受益証券 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2019年6月17日	10,785	—	9,955	—	90.9	6.1
6月末	11,075	2.7	10,174	2.2	89.9	5.9
7月末	11,138	3.3	10,113	1.6	90.4	5.9
8月末	10,631	△ 1.4	9,710	△ 2.5	90.9	5.7
9月末	10,904	1.1	9,952	△ 0.0	89.4	5.8
10月末	11,045	2.4	10,202	2.5	89.6	5.9
11月末	11,153	3.4	10,103	1.5	89.2	5.9
12月末	11,611	7.7	10,491	5.4	88.7	5.8
2020年1月末	10,840	0.5	9,646	△ 3.1	89.0	5.9
2月末	10,087	△ 6.5	9,349	△ 6.1	89.0	5.5
3月末	7,794	△ 27.7	7,951	△ 20.1	89.5	6.6
4月末	7,911	△ 26.6	7,532	△ 24.3	91.8	4.3
5月末	8,484	△ 21.3	7,945	△ 20.2	90.1	4.0
(期末) 2020年6月15日	8,572	△ 20.5	8,042	△ 19.2	90.1	4.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 6. 18 ~ 2020. 6. 15)

商品市況

商品市況はまちまちの展開となりました。

エネルギー市場では、原油や天然ガスは需要減退への懸念から下落しました。特に原油は、2020年4月にWTI原油先物価格が一時マイナスに落ち込むなど異常な事態となりました。当作成期末にかけては、OPECプラス（石油輸出国機構加盟国とロシアなど非加盟国）での減産合意や段階的なロックダウン（都市封鎖）解除から反発しましたが、当作成期首比では大きく下落しました。貴金属市場は、リスク回避の姿勢が強まったことから金を中心に価格は上昇しました。産業金属市場は、新型コロナウイルス感染拡大による景気減速懸念などから、全般的に軟調な推移となりました。農産物市場は、米中通商交渉で第1段階の合意がなされたことはサポート要因となりましたが、香港での問題をめぐり米中両国間での緊張が再度高まり、中国が米国産農産物の購入を停止するとの懸念が強まった結果、大豆を中心に軟調な推移となりました。

為替相場

米ドルは対円で下落（円高）しました。

米ドル円は、米中通商交渉の進展期待などを背景に2019年は緩やかな円安基調での推移が続きました。その後、2020年2月から3月にかけては非常に変動性の高い相場展開となり、新型コロナウイルス感染拡大に対する懸念の強まりが円買い要因となる一方、米ドル需要のひっ迫は米ドル高要因となりました。その結果、米ドル円は上下に10円以上変動しましたが、4月に入ると、金融当局による政策対応などを受けて徐々に落ち着きを見せました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

コモディティ・プラス・マザーファンドを通じて、商品を対象としたETFまたは商品に関連する株式を対象としたETFに投資します。

コモディティ・プラス・マザーファンド

商品を対象としたETFまたは商品に関連する株式を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクに注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

ポートフォリオについて

(2019. 6. 18 ~ 2020. 6. 15)

当ファンド

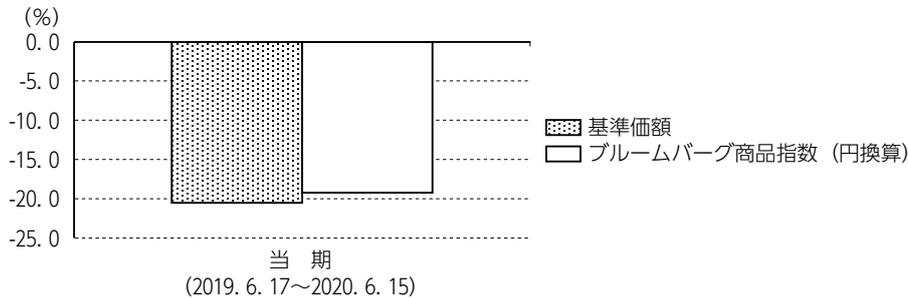
コモディティ・プラス・マザーファンドの受益証券の組入比率を高位に維持しました。

コモディティ・プラス・マザーファンド

商品を対象としたETFまたは商品に関連する株式を対象としたETFに投資しました。また、投資効率分析などを踏まえて、ETFの配分比率の見直しを行いました。エネルギー価格の下落からエネルギー部門の比率を引き下げ一方、貴金属部門で金現物を組み入れるETFであるSPDR GOLD SHARES ETFの組入比率を引き上げました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳 (1万口当たり)

項目	単位	当期
		2019年6月18日 ~2020年6月15日
当期分配金 (税込み)	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	999

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金 (税込み) に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

コモディティ・プラス・マザーファンドを通じて、商品を対象としたETFまたは商品に関連する株式を対象としたETFに投資します。

コモディティ・プラス・マザーファンド

商品を対象としたETFまたは商品に関連する株式を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 6. 18~2020. 6. 15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	51円	0.500%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,210円です。
(投 信 会 社)	(43)	(0.419)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(6)	(0.054)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	32	0.309	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(30)	(0.297)	
(投資信託証券)	(1)	(0.012)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託受益証券)	(0)	(0.001)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	4	0.043	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.036)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	87	0.853	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

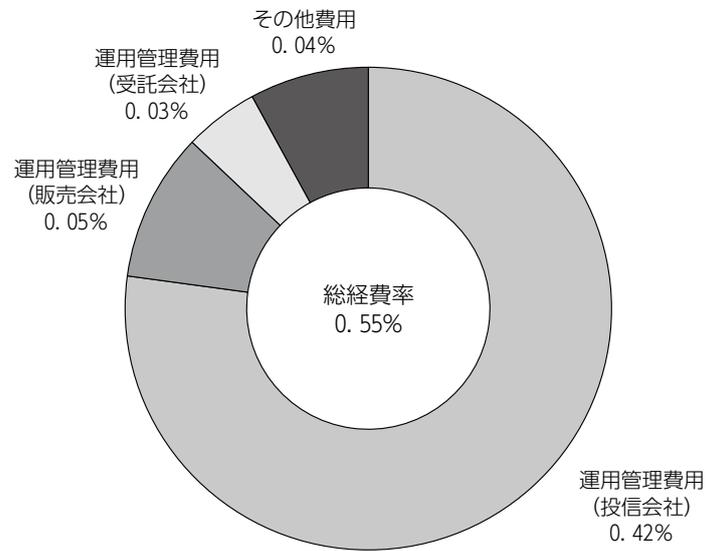
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.55%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
コモディティ・プラス・マザーファンド	437,818	455,080	30,358	31,750

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
コモディティ・プラス・マザーファンド	659,487	1,066,947	929,844	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コモディティ・プラス・マザーファンド	929,844	97.8
コール・ローン等、その他	20,638	2.2
投資信託財産総額	950,482	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.24円です。

(注3) コモディティ・プラス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(892,426千円)の投資信託財産総額(929,792千円)に対する比率は、96.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	950,482,742円
コール・ローン等	20,638,043
コモディティ・プラス・マザーファンド(評価額)	929,844,699
(B) 負債	2,339,176
未払信託報酬	2,314,111
その他未払費用	25,065
(C) 純資産総額(A-B)	948,143,566
元本	1,106,030,231
次期繰越損益金	△ 157,886,665
(D) 受益権総口数	1,106,030,231口
1万口当り基準価額(C/D)	8,572円

* 期首における元本額は677,092,054円、当作成期間中における追加設定元本額は543,470,925円、同解約元本額は114,532,748円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,572円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は157,886,665円です。

■損益の状況

当期 自2019年6月18日 至2020年6月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,020円
受取利息	393
支払利息	△ 6,413
(B) 有価証券売買損益	△ 210,017,215
売買益	9,229,290
売買損	△ 219,246,505
(C) 信託報酬等	△ 4,446,270
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 214,469,505
(E) 前期繰越損益金	△ 34,059,104
(F) 追加信託差損益金(配当等相当額)	(72,067,525)
(売買損益相当額)	(18,574,419)
(G) 合計(D+E+F)	△ 157,886,665
次期繰越損益金(G)	△ 157,886,665
追加信託差損益金(配当等相当額)	(72,067,525)
(売買損益相当額)	(18,574,419)
分配準備積立金	38,494,457
繰越損益金	△ 287,023,066

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	72,067,525
(d) 分配準備積立金	38,494,457
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	110,561,982
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	110,561,982
(h) 受益権総口数	1,106,030,231口

ブルームバーグ商品指数とは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)およびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)とUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー(UBS Securities LLC)の共同商品で、現物商品の先物契約により構成され、商品市場全体の値動きを表します。

ブルームバーグ商品指数(Bloomberg Commodity IndexSM)および「ブルームバーグ(Bloomberg[®])」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)およびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)のサービスマークであり、当社による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ商品指数(Bloomberg Commodity IndexSM)は、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー(UBS Securities LLC)の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社(以下「UBS」と総称します。)のいずれも、当社の関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、当ファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ商品指数(Bloomberg Commodity IndexSM)に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

コモディティ・プラス・マザーファンド

運用報告書 第4期 (決算日 2020年6月15日)

(作成対象期間 2019年6月18日～2020年6月15日)

コモディティ・プラス・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

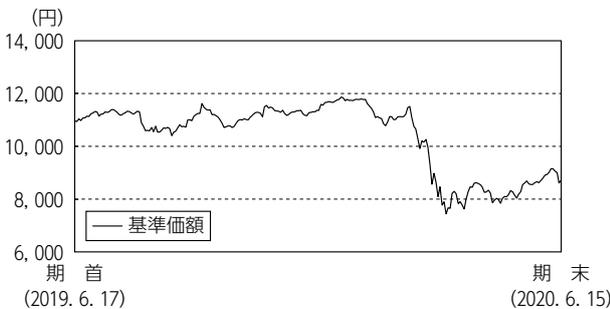
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	世界(日本を含みます。)の金融商品取引所上場のETF ※このファンドにおいてETFとは上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		ブルームバーグ商品指数(円換算)		投資信託受託証券組入比率	
	円	%	(参考指数)	%	%	%
(期首) 2019年6月17日	10,963	—	9,955	—	91.8	6.1
6月末	11,262	2.7	10,174	2.2	90.8	6.0
7月末	11,332	3.4	10,113	1.6	91.3	5.9
8月末	10,814	△ 1.4	9,710	△ 2.5	91.8	5.7
9月末	11,100	1.2	9,952	△ 0.0	90.3	5.8
10月末	11,249	2.6	10,202	2.5	90.5	5.9
11月末	11,365	3.7	10,103	1.5	90.1	6.0
12月末	11,842	8.0	10,491	5.4	89.6	5.8
2020年1月末	11,049	0.8	9,646	△ 3.1	89.9	5.9
2月末	10,278	△ 6.2	9,349	△ 6.1	90.2	5.6
3月末	7,904	△ 27.9	7,951	△ 20.1	90.6	6.7
4月末	8,030	△ 26.8	7,532	△ 24.3	92.9	4.3
5月末	8,622	△ 21.4	7,945	△ 20.2	91.3	4.1
(期末) 2020年6月15日	8,715	△ 20.5	8,042	△ 19.2	91.9	4.1

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) ブルームバーグ商品指数(円換算)は、ブルームバーグ商品指数(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,963円 期末：8,715円 騰落率：△20.5%

【基準価額の主な変動要因】

商品を対象としたETF(※)または商品に関連する株式を対象としたETFに投資を行った結果、基準価額は下落しました。エネルギー価格の下落などがマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※当ファンドにおいてETFとは、上場投資信託証券および上場投資法人債券をいいます。

◆投資環境について

○商品市況

商品市況はまちまちの展開となりました。

エネルギー市場では、原油や天然ガスは需要減退への懸念から下落しました。特に原油は、2020年4月にWTI原油先物価格が一時マイナスに落ち込むなど異常な事態となりました。当作成期末にかけては、OPECプラス(石油輸出国機構加盟国とロシアなど非加盟国)での減産合意や段階的なロックダウン(都市封鎖)解除から反発しましたが、当作成期首比では大きく下落しました。貴金属市場は、リスク回避の姿勢が強まったことから金を中心に価格は上昇しました。産業金属市場は、新型コロナウイルス感染拡大による景気減速懸念などから、全般的に軟調な推移となりました。農産物市場は、米中通商交渉で第1段階の合意がなされたことはサポート要因となりましたが、香港での問題をめぐり米中両国間での緊張が再度高まり、中国が米国産農産物の購入を停止するとの懸念が強まった結果、大豆を中心に軟調な推移となりました。

○為替相場

米ドルは対円で下落(円高)しました。

米ドル円は、米中通商交渉の進展期待などを背景に2019年は緩やかな円安基調での推移が続きました。その後、2020年2月から3月にかけては非常に変動性の高い相場展開となり、新型コロナウイルス感染拡大に対する懸念の強まりが円買い要因となる一方、米ドル需要のひっ迫は米ドル高要因となりました。その結果、米ドル円は上下に10円以上変動しましたが、4月に入ると、金融当局による政策対応などを受けて徐々に落ち着きを見せました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

商品を対象としたETFまたは商品に関連する株式を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめぐり、またポートフォリオ全体のリスクに注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

◆ポートフォリオについて

商品を対象としたETFまたは商品に連動する株式を対象としたETFに投資しました。また、投資効率分析などを踏まえて、ETFの配分比率の見直しを行いました。エネルギー価格の下落からエネルギー部門の比率を引き上げる一方、貴金属部門で金現物を組み入れるETFであるSPDR GOLD SHARES ETFの組入比率を引き上げました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

商品を対象としたETFまたは商品に関連する株式を対象としたETFに投資を行います。

各ETFの投資効率分析などを踏まえ、効率的なETFへの配分をめざし、またポートフォリオ全体のリスクを注視し、信託財産の成長をめざします。

なお、ETFへの投資にあたっては、大和証券株式会社から助言を受けます。

■1万口当りの費用の明細

項目	当 期
売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資信託証券)	32円 (31) (1)
有価証券取引税 (投資信託受益証券) (投資信託証券)	0 (0) (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	4 (4) (0)
合 計	(36)

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

(1)投資信託受益証券

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

当 期				当 期			
買 付 銘 柄	口 数	金 額	平均単価	売 付 銘 柄	口 数	金 額	平均単価
UNITED STATES OIL FUND LP (アメリカ)	225.5	116,784	517	UNITED STATES OIL FUND LP (アメリカ)	34.125	76,961	2,255
UNITED STATES BRENT OIL FUND (アメリカ)	93.2	112,469	1,206	SPDR GOLD SHARES (アメリカ)	2.5	42,093	16,837
SPDR GOLD SHARES (アメリカ)	6.7	112,084	16,728	US NATURAL GAS FUND LP (アメリカ)	21.5	39,815	1,851
INVESTCO DB AGRICULTURE FUND (アメリカ)	52.8	84,702	1,604	UNITED STATES BRENT OIL FUND (アメリカ)	37.8	36,523	966
US NATURAL GAS FUND LP (アメリカ)	35.4	54,635	1,543	ENERGY SELECT SECTOR SPDR (アメリカ)	6	19,489	3,248
SPDR S&P METALS & MINING ETF (アメリカ)	15.7	36,357	2,315	INVESTCO DB AGRICULTURE FUND (アメリカ)	10.6	16,856	1,590
ENERGY SELECT SECTOR SPDR (アメリカ)	6.1	29,513	4,838	VANECK GOLD MINERS (アメリカ)	3.8	13,405	3,527
ISHARES SILVER TRUST (アメリカ)	18.3	28,789	1,573	ISHARES SILVER TRUST (アメリカ)	7.4	12,625	1,706
VANECK AGRIBUSINESS (アメリカ)	3.9	25,372	6,505	SPDR S&P METALS & MINING ETF (アメリカ)	6.6	12,522	1,897
FIRST TRUST NATURAL GAS ETF (アメリカ)	26.3	21,319	810	SPDR S&P OIL & GAS EXP & PR (アメリカ)	3	11,718	3,906

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2)投資信託証券

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

当 期				当 期			
買 付 銘 柄	口 数	金 額	平均単価	売 付 銘 柄	口 数	金 額	平均単価
ISHARES MSCI GLOBAL METALS & (アメリカ)	6.5	17,014	2,617	FLEXSHARES GLOBAL UPSTREAM N (アメリカ)	7.8	19,122	2,451
FLEXSHARES GLOBAL UPSTREAM N (アメリカ)	4.6	14,057	3,055	ISHARES MSCI GLOBAL METALS & (アメリカ)	2.7	5,914	2,190

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

(1)投資信託受益証券

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口 523.4 (△ 252.45)	千アメリカ・ドル 6,813 (—)	千口 158.925 (—)	千アメリカ・ドル 3,069 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注4) 金額の単位未満は切捨て。

(2)投資信託証券

(2019年6月18日から2020年6月15日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口 11.1 (—)	千アメリカ・ドル 286 (—)	千口 10.5 (—)	千アメリカ・ドル 234 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国投資信託受益証券

銘柄	期首		当期末	
	□数	□数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
(アメリカ)				
SPDR GOLD SHARES	6.9	11.1	1,805	193,576
ABERDEEN STANDARD PHYSICAL P	2.6	4.3	329	35,285
SPDR S&P METALS & MINING ETF	15.2	24.3	518	55,558
SPDR S&P OIL & GAS EXP & PR	5.1	1.625	94	10,112
ENERGY SELECT SECTOR SPDR	4.3	4.4	175	18,789
INVESCO DB AGRICULTURE FUND	52.6	94.8	1,290	138,364
INVESCO DB BASE METALS FUND	8.7	13.2	176	18,897
FIRST TRUST NATURAL GAS ETF	9.4	22.5	189	20,292
MATERIALS SELECT SECTOR SPDR	6	7.7	423	45,449
ISHARES GLOBAL ENERGY ETF	4.1	4.1	84	9,114
ISHARES U.S. BASIC MATERIALS	2.2	2.9	253	27,162
VANECK AGRIBUSINESS	6.4	8.8	529	56,735
VANECK GOLD MINERS	6.6	9.7	316	33,953
UNITED STATES BRENT OIL FUND	22	77.4	785	84,248
UNITED STATES OIL FUND LP	47.5	—	—	—
US NATURAL GAS FUND LP	32.975	46.875	503	54,038
ISHARES SILVER TRUST	19.4	30.3	493	52,899
合計	□数、金額 銘柄数<比率>	251.975 17銘柄	364 16銘柄	7,967 854,480 <91.9%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		当期末	
	□数	□数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円
(アメリカ)				
FLEXSHARES GLOBAL UPSTREAM N	6.3	3.1	86	9,281
ISHARES MSCI GLOBAL METALS &	6.9	10.7	266	28,583
合計	□数、金額 銘柄数<比率>	13.2 2銘柄	13.8 2銘柄	353 37,865 <4.1%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年6月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 854,480	91.9%
投資信託証券	37,865	4.1
コール・ローン等、その他	37,446	4.0
投資信託財産総額	929,792	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月15日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.24円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(892,426千円)の投資信託財産総額(929,792千円)に対する比率は、96.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年6月15日現在

項目	当期末
(A) 資産	929,792,121円
コール・ローン等	37,446,580
投資信託受益証券(評価額)	854,480,277
投資信託証券(評価額)	37,865,264
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A-B)	929,792,121
元本	1,066,947,446
次期繰越損益金	△ 137,155,325
(D) 受益権総口数	1,066,947,446口
1万口当り基準価額(C/D)	8,715円

* 期首における元本額は659,487,730円、当作成期間中における追加設定元本額は437,818,171円、同解約元本額は30,358,455円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワファンドラップ コモディティ・プラス・ファンド1,066,947,446円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,715円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は137,155,325円です。

■損益の状況

当期 自2019年6月18日 至2020年6月15日

項目	当期
(A) 配当等収益	11,603,963円
受取配当金	11,617,200
受取利息	6,520
支払利息	△ 19,757
(B) 有価証券売買損益	△ 227,814,792
売買益	49,831,576
売買損	△ 277,646,368
(C) その他費用	△ 331,691
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 216,542,520
(E) 前期繰越損益金	63,516,911
(F) 解約差損益金	△ 1,391,545
(G) 追加信託差損益金	17,261,829
(H) 合計(D+E+F+G)	△ 137,155,325
次期繰越損益金(H)	△ 137,155,325

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ブルームバーグ商品指数とは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)およびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)とUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー(UBS Securities LLC)の共同商品で、現物商品の先物契約により構成され、商品市場全体の値動きを表します。

ブルームバーグ商品指数(Bloomberg Commodity IndexSM)および「ブルームバーグ(Bloomberg[®])」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)およびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)のサービスマークであり、当社による一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ商品指数(Bloomberg Commodity IndexSM)は、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー(UBS Securities LLC)の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社(以下「UBS」と総称します。)のいずれも、当社の関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、当ファンドを承認し、是認し、レビューしまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ商品指数(Bloomberg Commodity IndexSM)に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。